



# 2020年3月期 決算説明資料

Copyright © SMN Corporation All rights reserved.



01	2020年3月期 連結決算概要	P03
02	第4四半期事業の状況	P14
03	TOPICS	P18
04	中期事業戦略	P24
05	2021年3月期 連結業績予想	P40



# 2020年3月期 連結決算概要



2020年3月期 経営方針の振り返り

「アドテク再成長」、  
「ソリューション型ビジネスへの転換」は達成、  
「メディア事業参入」は想定通り進まず

アドテク再成長



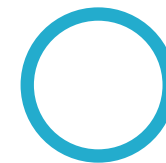
前期比約+12%  
で再成長へ軌道にのる

メディア事業参入



他社との協業等  
想定通り進まず

ソリューション型  
ビジネスへの転換



M&Aによる事業領域の拡大や  
マーケティングエージェンシー  
事業子会社設立

## 決算ハイライト（総括）

前期比

(単位:百万円)

連結業績	売上	11,607	+1,390	<p>売上、営業利益は 前期比で増収増益 (2020年3月期はコロナウイルスの影響限定的)</p> <p>当期純利益は 法人税等の影響で減益に</p>
	営業利益	747	+22	
	当期純利益	483	△93	

## 売上内訳

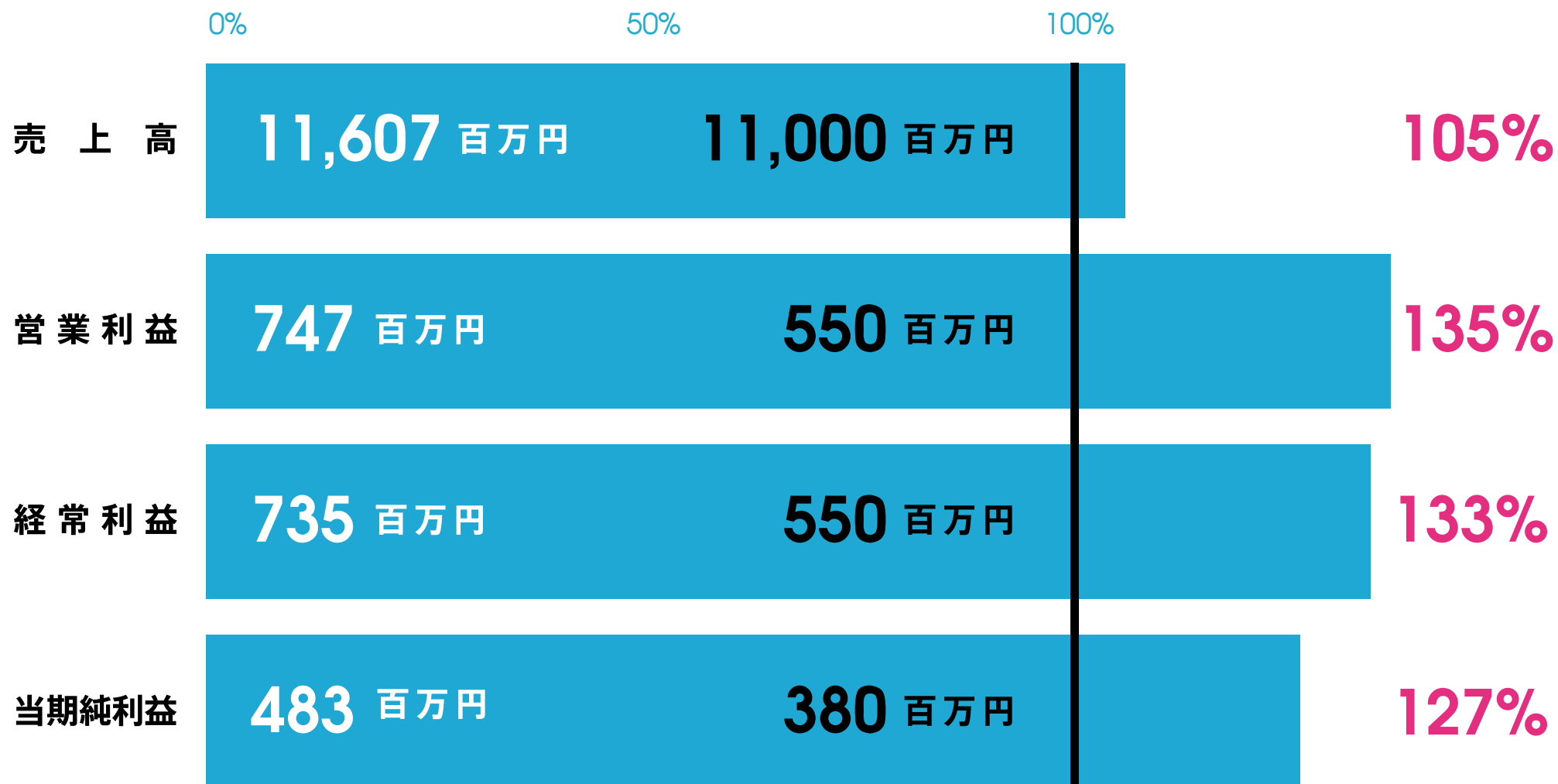
前期比

アドテクノロジー	売上	7,016	+12.9%	前年同四半期比（1-3月）+26%成長 VALIS-Engine（AIエンジン）関連商材が好調
マーケティングソリューション	売上	3,990	+7.6%	複数の既存カテゴリが伸長
その他	売上	600	+106.6%	M&Aによる事業領域（ウェブインテグレーション）の拡大で増加

※2020年3月期1Qより、サービス名称の「アフィリエイト」を「マーケティングソリューション」へと変更しています

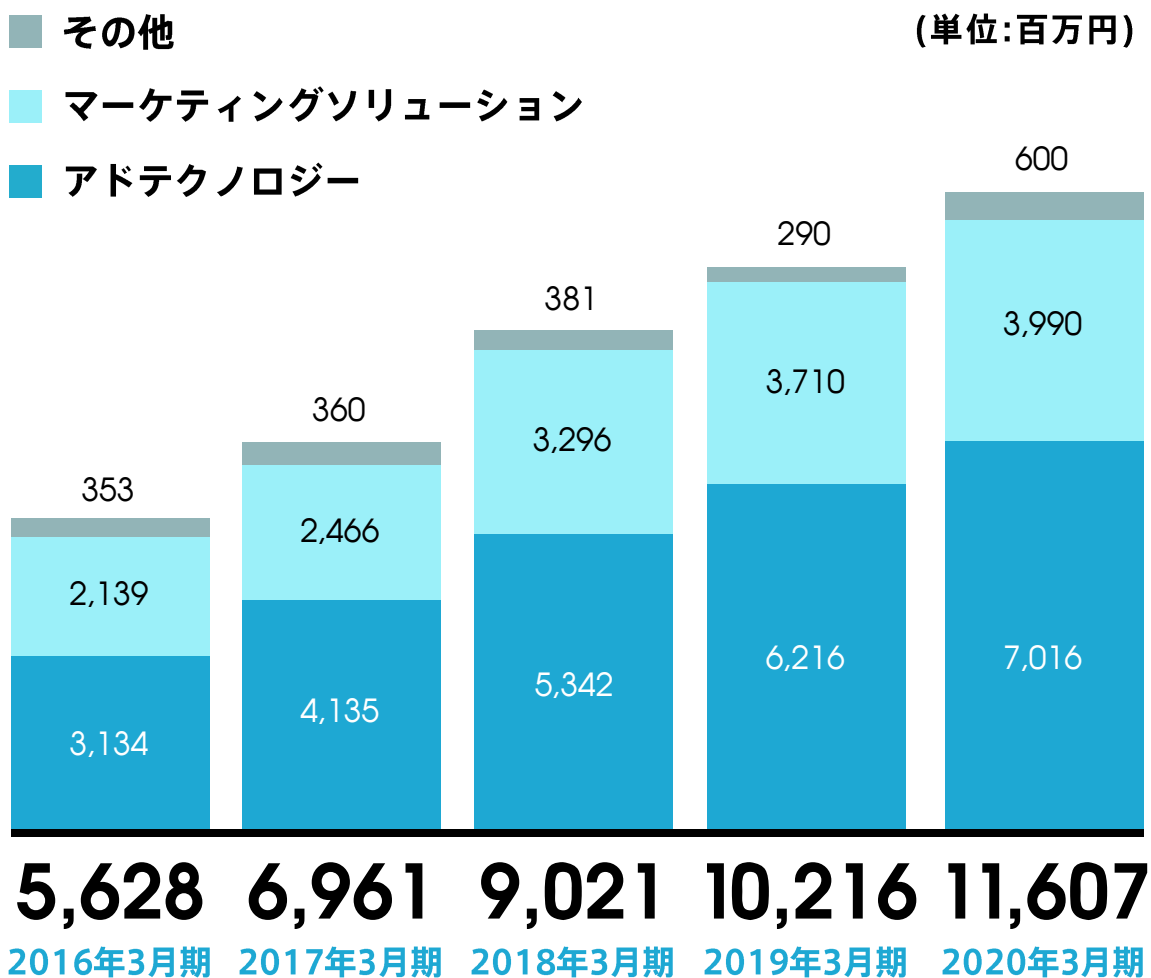
## 決算ハイライト (進捗率)

# 全ての指標において期初業績予想を達成



## 決算ハイライト (売上)

# 全てのサービスで増収



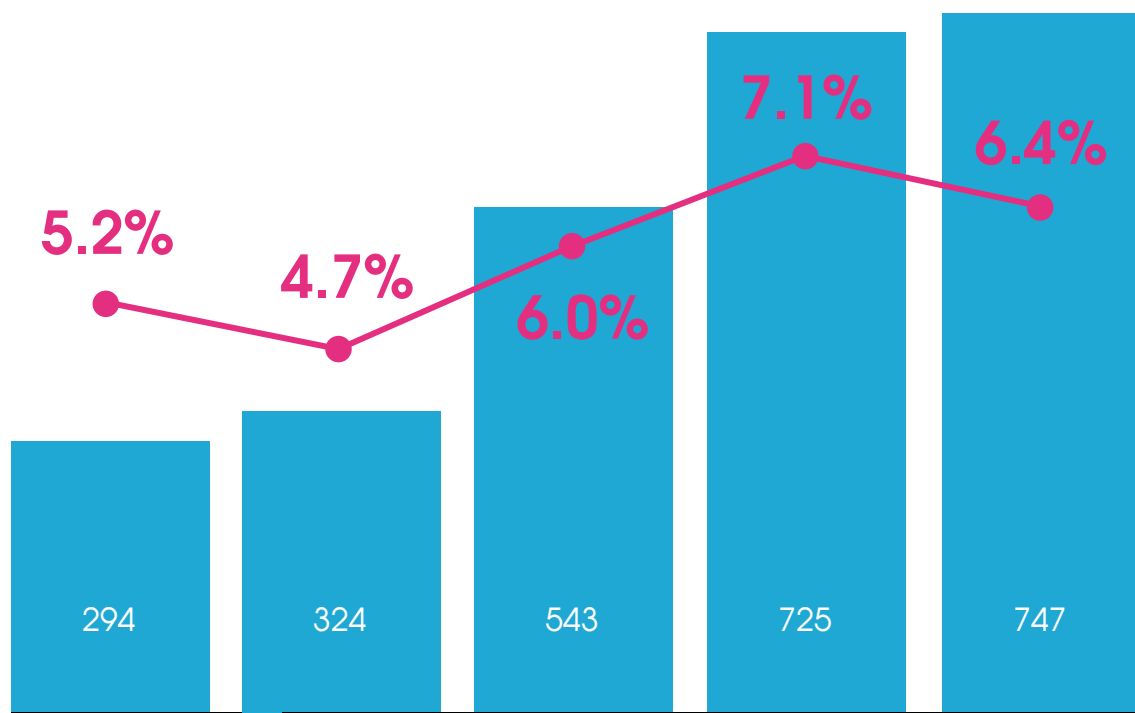
前期比

+13%

## 決算ハイライト（営業利益）

売上総利益率が改善も  
先行投資により販管費が増加し  
営業利益は**前期並みに**

● 営業利益率 (単位:百万円)



2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期

前期比

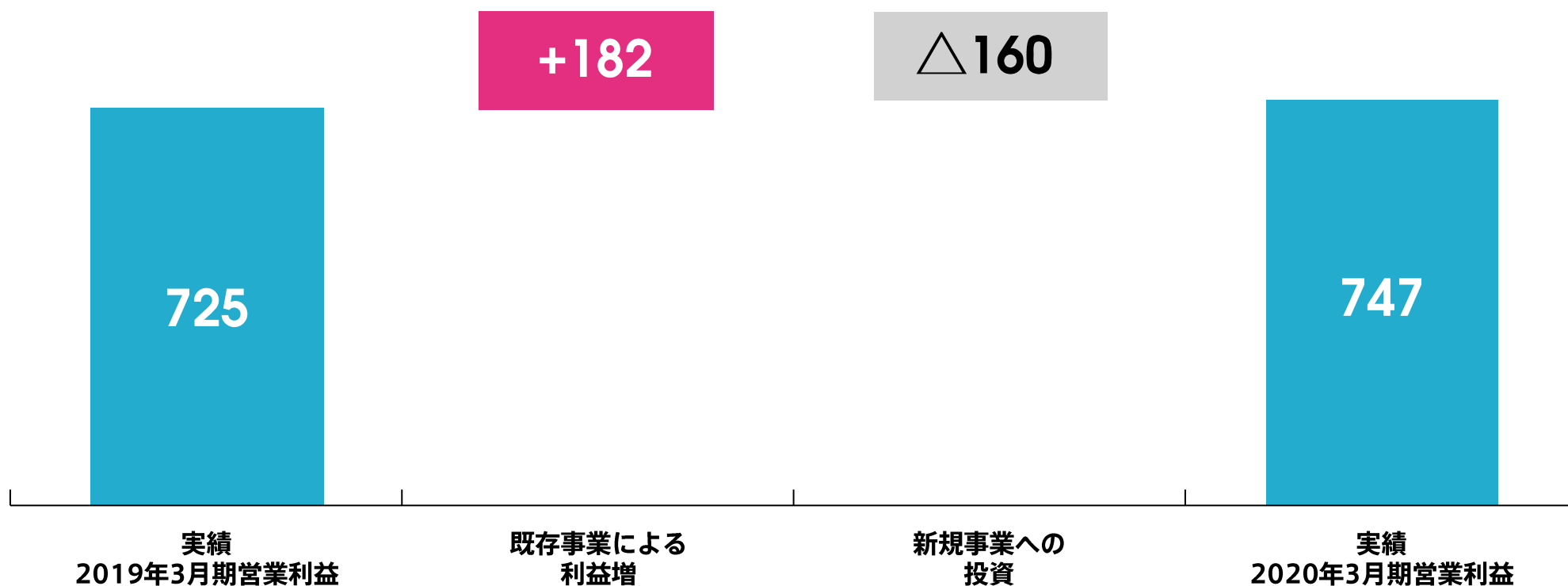
+3%



## 決算ハイライト(営業利益増減)

# 新規事業への投資が発生も既存事業の成長により増益

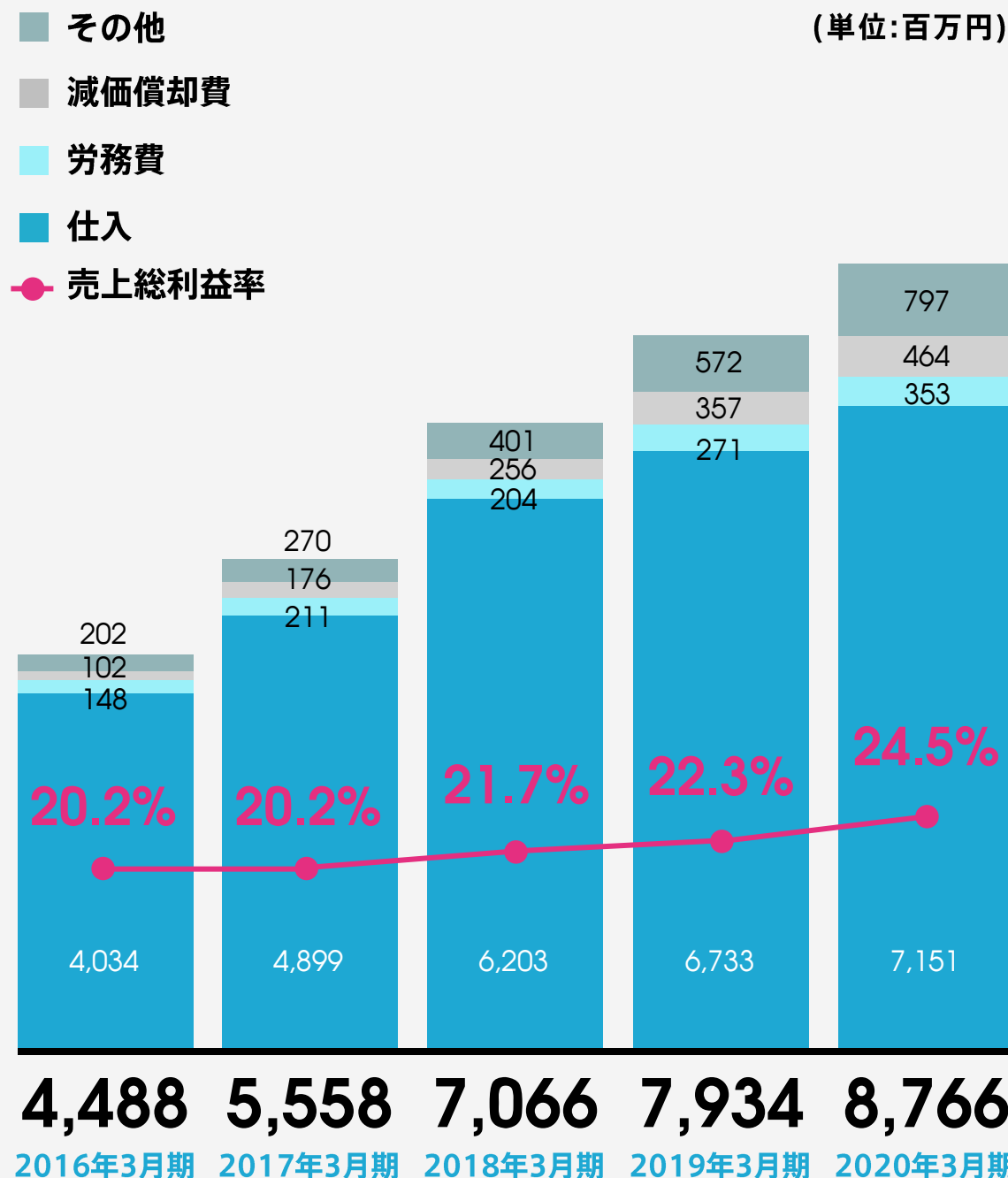
(単位:百万円)



費用の増加は利益に対してマイナスインパクトのため△で表示

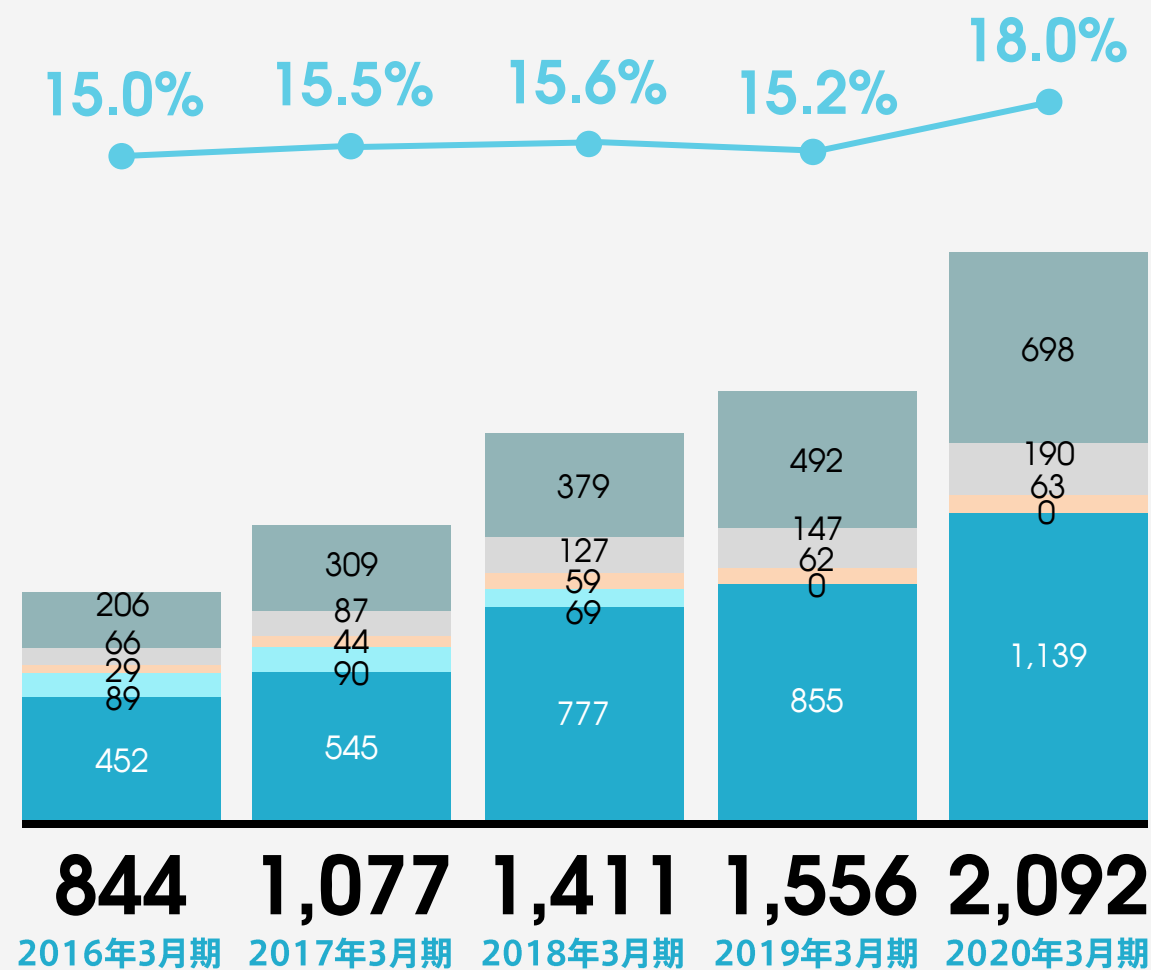
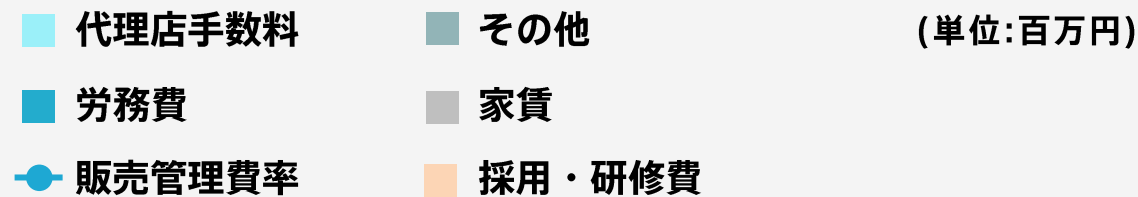
決算ハイライト (売上原価)

開発関連投資が  
増加するも  
限界利益率が向上し  
売上総利益率は**向上**



## 決算ハイライト（販管費）

事業規模拡大及び  
新規事業に関わる  
人件費やM&Aによる  
固定費が増加し  
販管費率は**増加**



## 決算ハイライト（貸借対照表）

# ソフトウェア開発及び子会社株式取得による のれん計上のため無形固定資産増加

(単位:百万円)

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	前期末比
流動資産	3,236	3,554	3,932	+ 11%
現預金	1,836	2,066	2,109	+ 2%
固定資産	1,708	2,044	2,677	+ 31%
無形固定資産	993	1,263	1,830	+ 45%
総資産	4,944	5,599	6,610	+ 18%
流動負債	1,386	1,382	1,813	+ 31%
固定負債	52	55	226	+ 312%
純資産	3,505	4,162	4,570	+ 10%

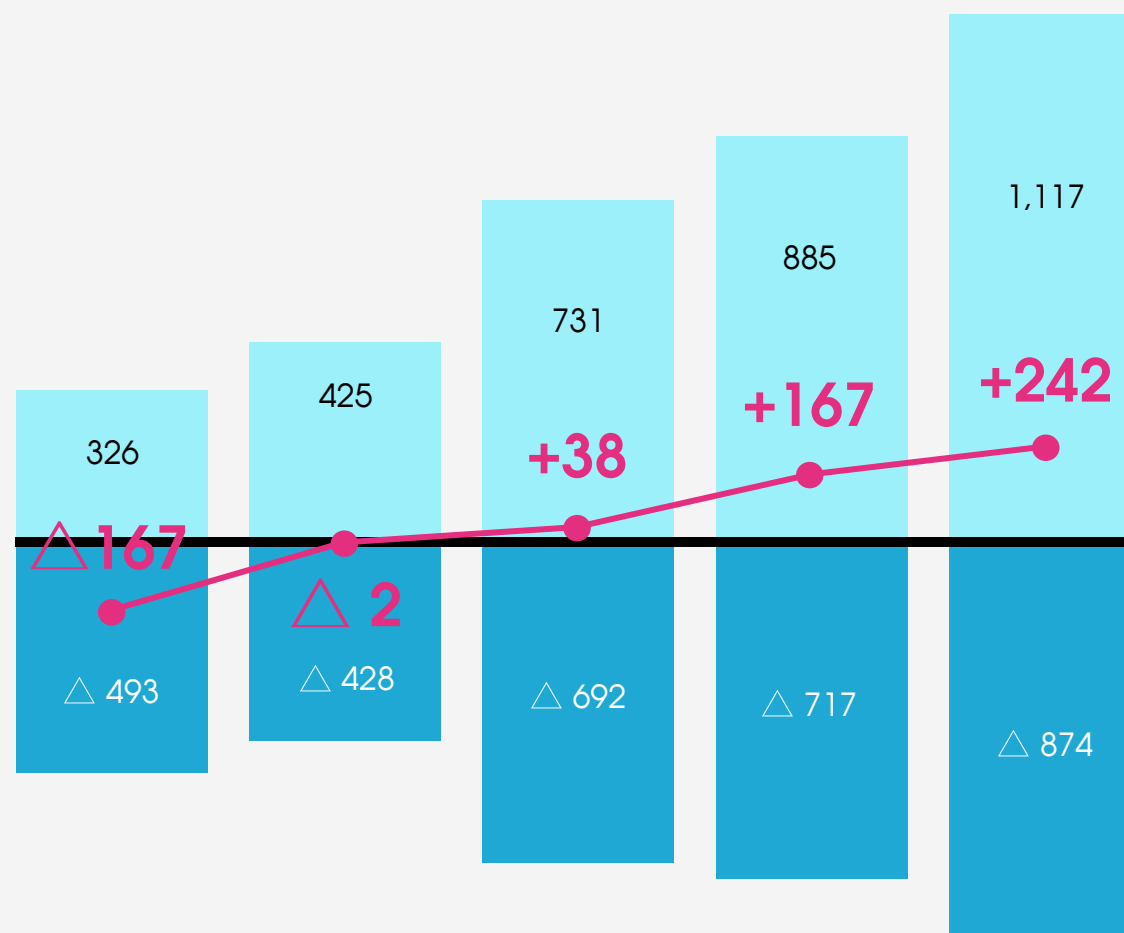
決算ハイライト  
(フリー・キャッシュ・フロー)

M&Aによる  
株式取得が発生も  
営業CFが増加し  
フリーCFは増加

■ 営業 CF  
■ 投資 CF  
● フリー CF

(単位:百万円)

2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期



# 第4四半期事業の状況

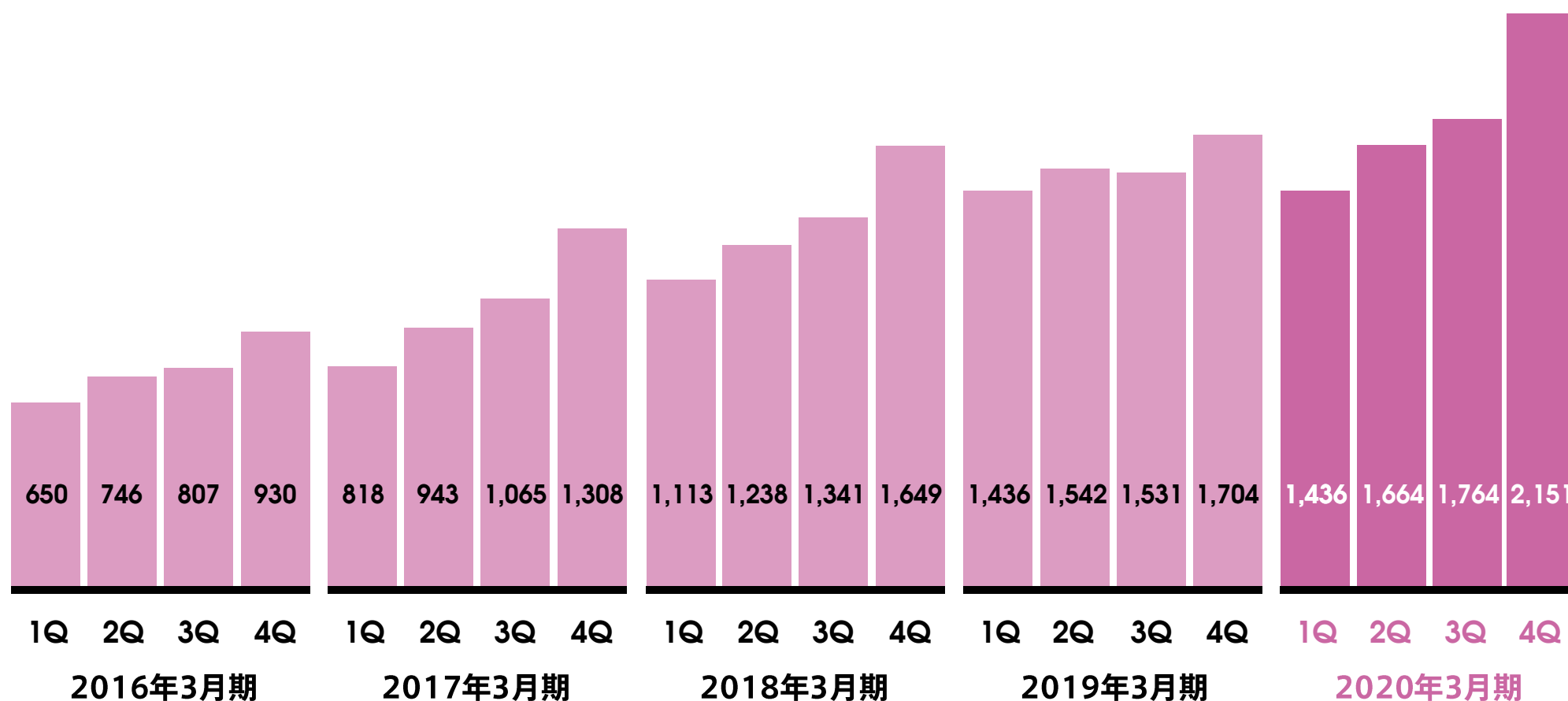


アドテクノロジー

# VALIS-Engine (AIエンジン) を活用した商材が伸長し、 前年同四半期比 (1-3月) +26% となり過去最高売上を更新

売上高 (四半期毎)

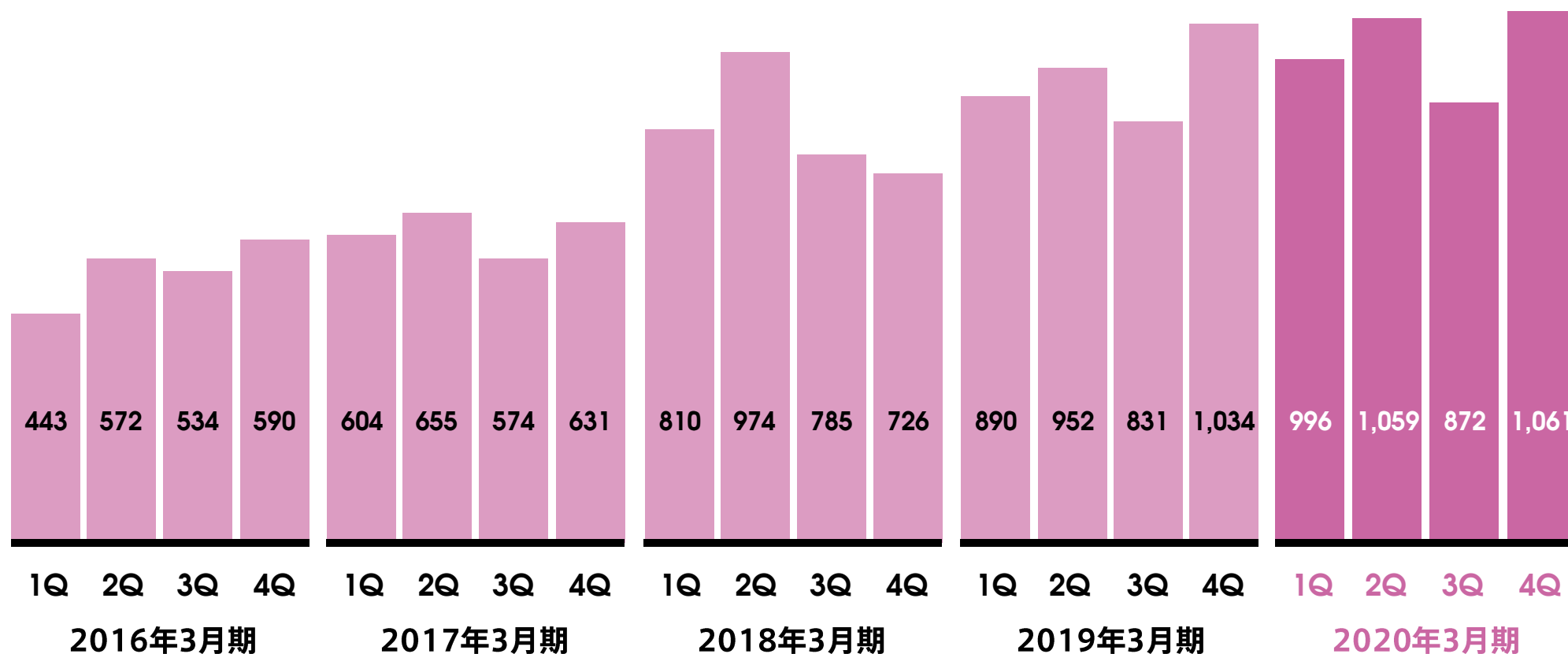
(単位:百万円)



# 複数の既存カテゴリで伸長し、過去最高売上を更新

売上高（四半期毎）

（単位：百万円）



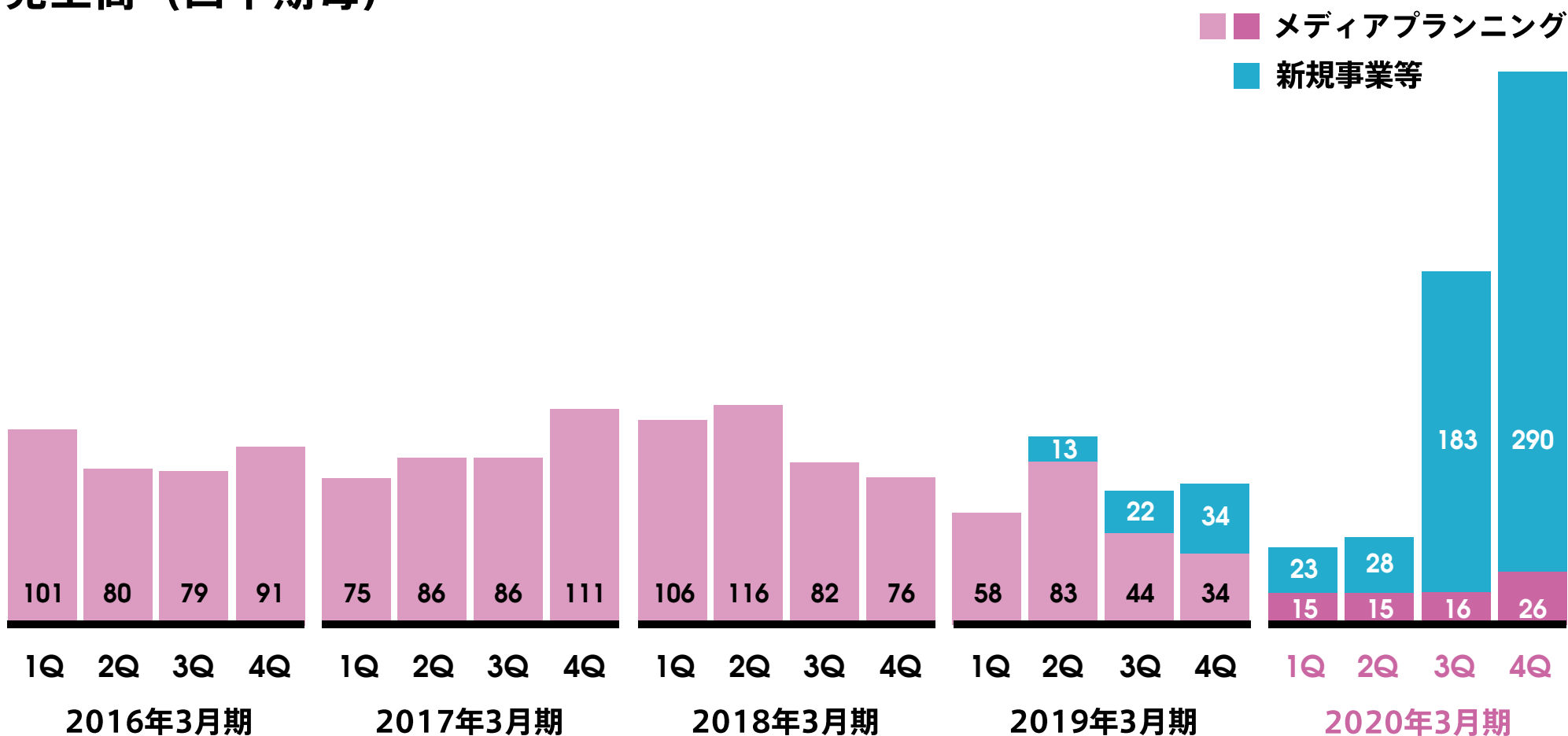


その他

# M&Aによる事業領域（ウェブインテグレーション）の 拡大で増加

売上高（四半期毎）

（単位：百万円）



# TOPICS



## TOPICS アドテクノロジー

# デジタル屋外広告（DOOH）向け配信サービス 「Logicad DOOH」の提供開始

NTTドコモの位置情報等を基に性別や年代、天気をフックにした広告を配信



※OOHは、交通広告や屋外広告など、家庭以外の場所で接触する広告媒体の総称。

DOOHは、交通広告、屋外広告およびリテールショップなどに設置されたデジタルサイネージを活用した広告媒体を指します。

# 動画配信プラットフォーム「SpotX」との連携開始

視認性の高いインストリーム広告枠へ配信

## 「Logicad」×「SpotX」連携イメージ

広告主・代理店



条件設定

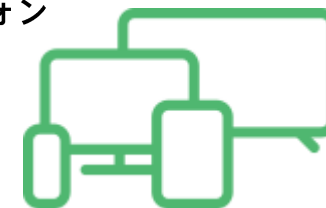


RTB



配信デバイス

- ・PC
- ・スマートフォン
- ・タブレット
- ・テレビ



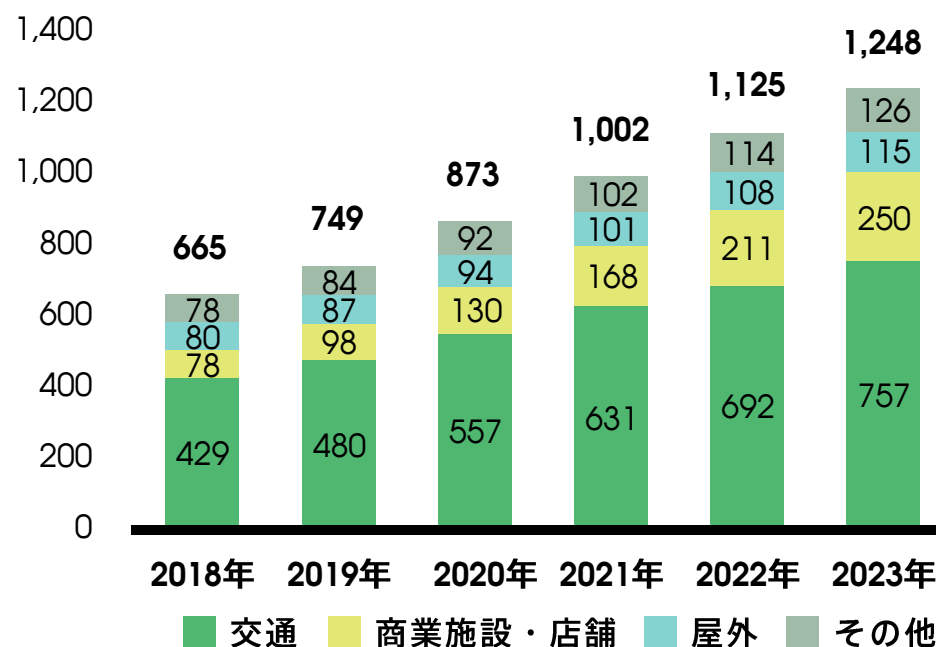
(参考) 国内デジタルサイネージおよび動画広告市場

# デジタルサイネージ、動画広告市場ともに成長見込

## 国内のデジタルサイネージ広告市場

2018～2023年市場規模推計・予測

(単位：億円)

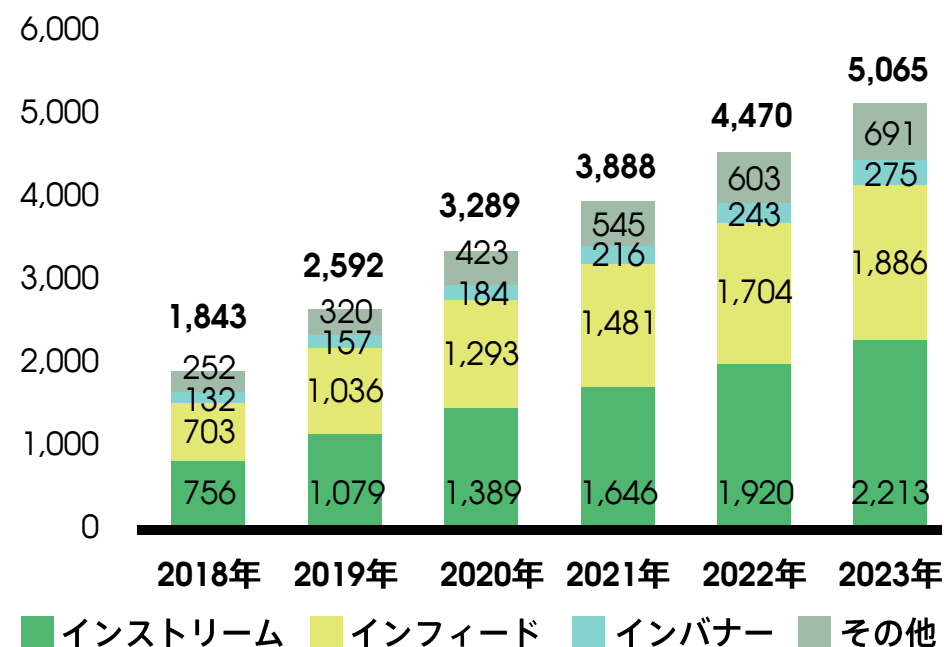


CCI(CARTA HOLDINGS)/デジタルインファクト調べ

## 動画広告市場規模推計-予測

(広告商品別) 2018～2023年

(単位：億円)



オンラインビデオ総研/デジタルインファクト調べ  
出典元：株式会社サイバーエージェント

TOPICS その他

健康経営優良法人  
(ホワイト500) に

2年連続  
認定



2020

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

SMN 健康経営フレーム



TOPICS その他（コロナウイルスへの対応）

## 新型コロナウイルス感染防止対策のため、 4月6日（月）より全従業員を対象に在宅勤務を実施

### これまでの対応経緯

2月17日（月）SMNグループ 時差勤務、およびテレワーク推奨を開始

4月 6日（月）全従業員在宅勤務の実施

4月24日（月）全従業員在宅勤務実施の延長

### 実施内容

在宅勤務手当（一時金）を支給

その他、従業員の勤務状況を把握するため、定期的なアンケートを実施し、サポート体制の強化など、柔軟かつ迅速に必要な対応を継続的に実施

# 中期事業戦略





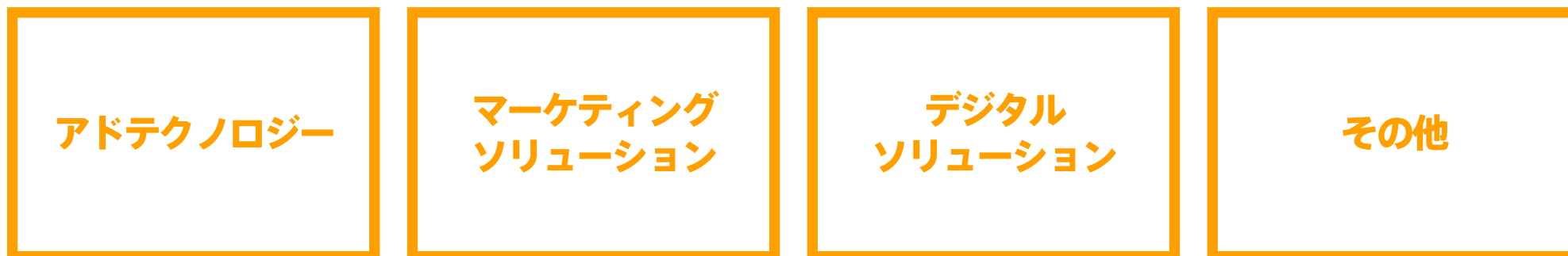
取扱いサービス表記の変更について

# 今後の事業展開を鑑み「その他」を 「デジタルソリューション」と「その他」に変更

これまで



今後



# 保有する技術を他領域へ展開し事業拡大を目指してきた



# 最も信頼されるデジタルマーケティング会社を目指す

当社グループは2015年12月に東証マザーズに上場して以来、  
マーケティングテクノロジーの領域において事業規模を拡大し、順調に成長してまいりました  
また、2019年3月には東証一部市場変更、10月には商号変更と新たなフェーズへと入っております

直近ではネット広告市場での環境変化（Cookieの規制等）など会社として大きな転換点を迎えております

激動の時代において更なる成長を目指すため

「最も信頼されるデジタルマーケティング会社を目指す」というビジョンとともに

中期事業戦略を新たに策定しました

中期事業戦略を達成し、更なる成長と企業価値向上を目指してまいります

## 中期事業戦略

### 新たな データの活用

位置情報や動画視聴データなど  
を活用した事業展開

と

### 領域の 拡大

これまでの経験をもとにした  
広告配信以外のサービス展開



## の両軸で更なる成長へ

## アドテクノロジー

# 環境変化を適切に捉え成長を目指す

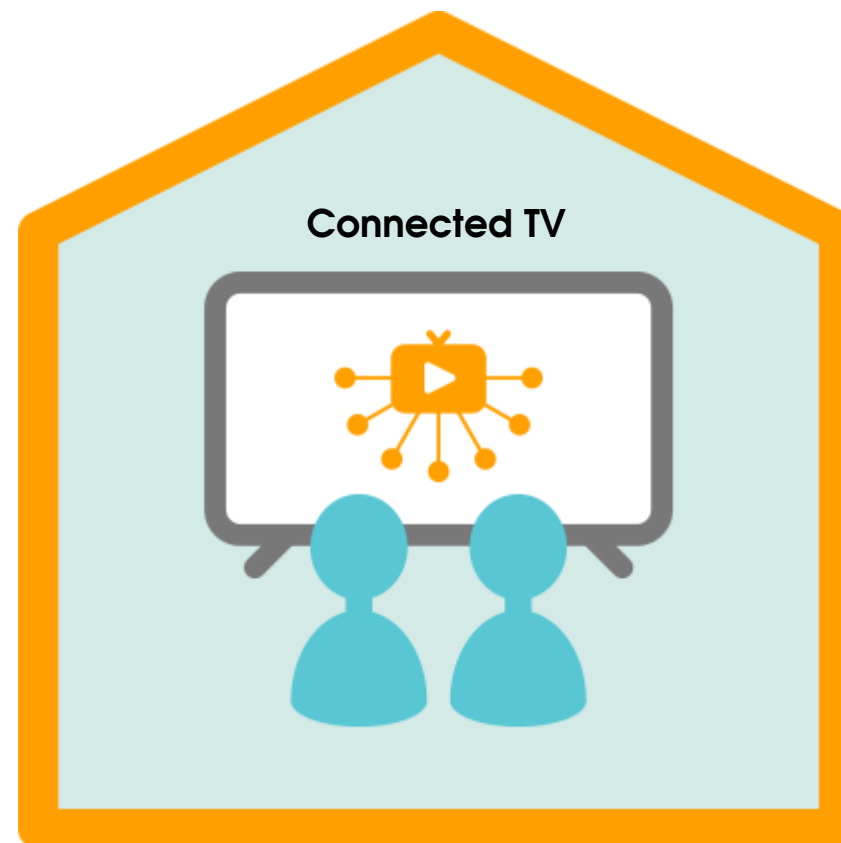
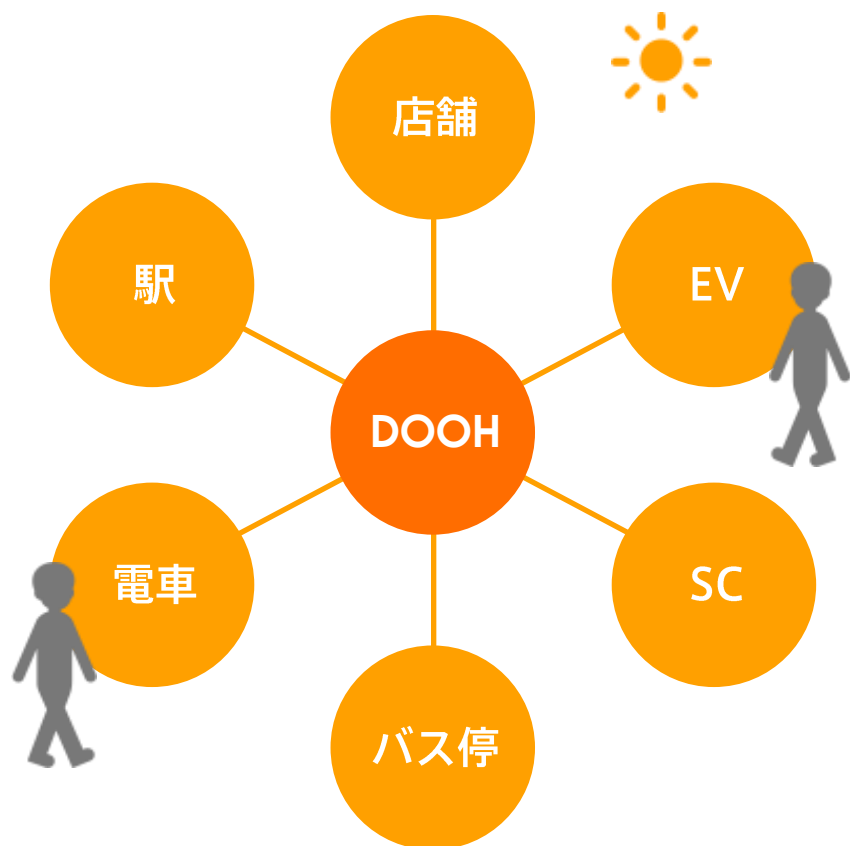
- ① DOOHやConnected TVの新領域への進出
- ② 今後成長が期待される営業エリアの拡大
- ③ 自社のAI技術を活かしアプリ広告へ参入



アドテクノロジー 重点施策①

## 新領域（DOOH/Connected TV）への進出

DOOH（屋外）、Connected TV（屋内）でのサービス展開



## アドテクノロジー 重点施策②

# 今後伸びるエリアへサービスを**拡大**

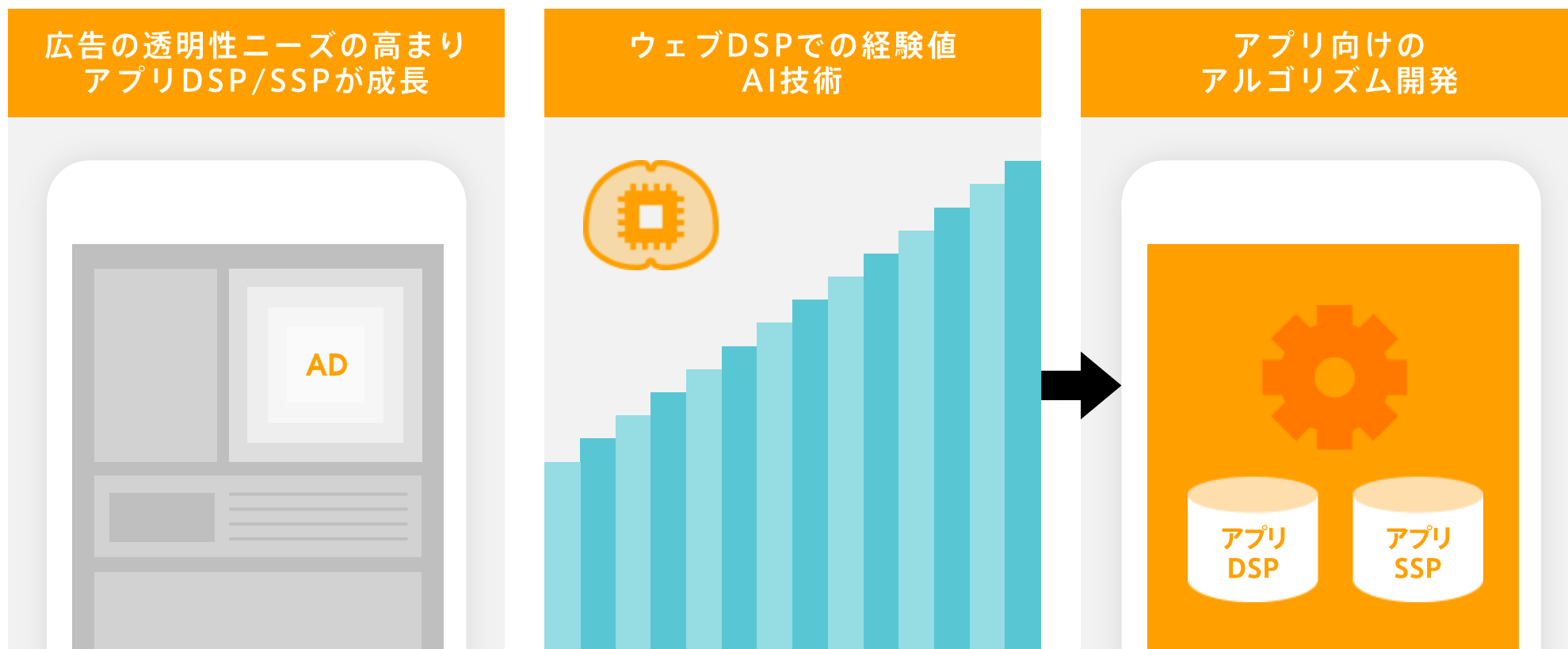
国内インターネット広告市場で成長が見込まれるエリアの開拓強化、将来的には海外も視野



## アドテクノロジー 重点施策③

# 成長するアプリ広告市場にDSPモデルで参入

参入機会と強みを生かしアプリ向けアルゴリズムを開発し、収益化を図る

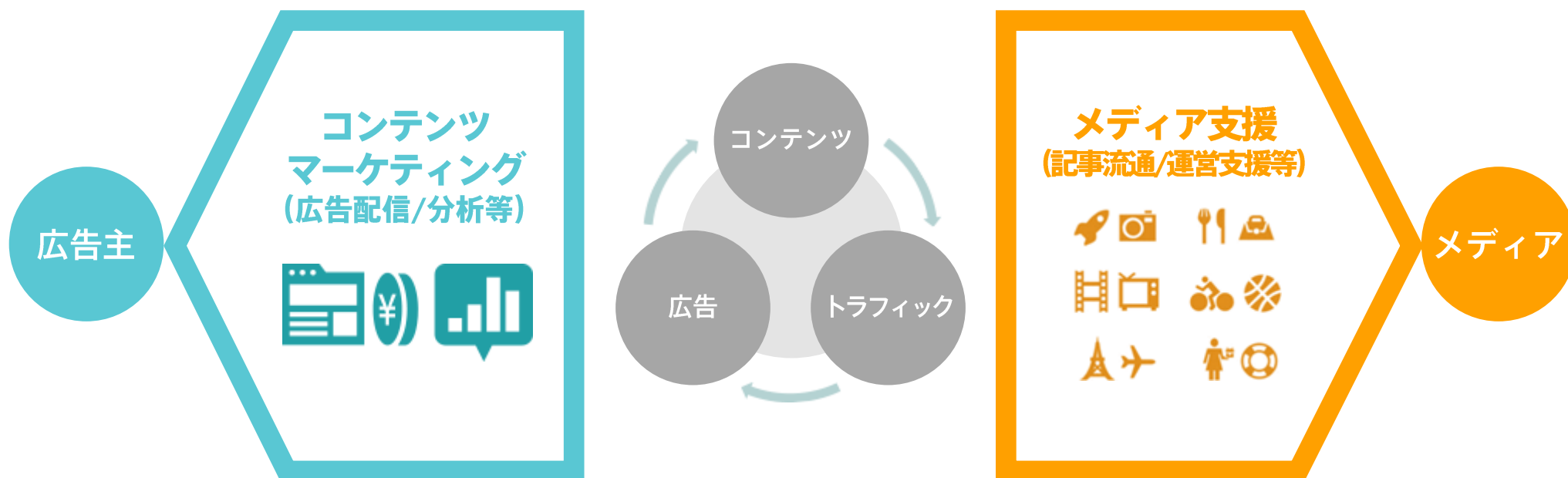




マーケティングソリューション

# メディアとの強固な関係性を基盤に、 良質なマーケティングソリューションを提供

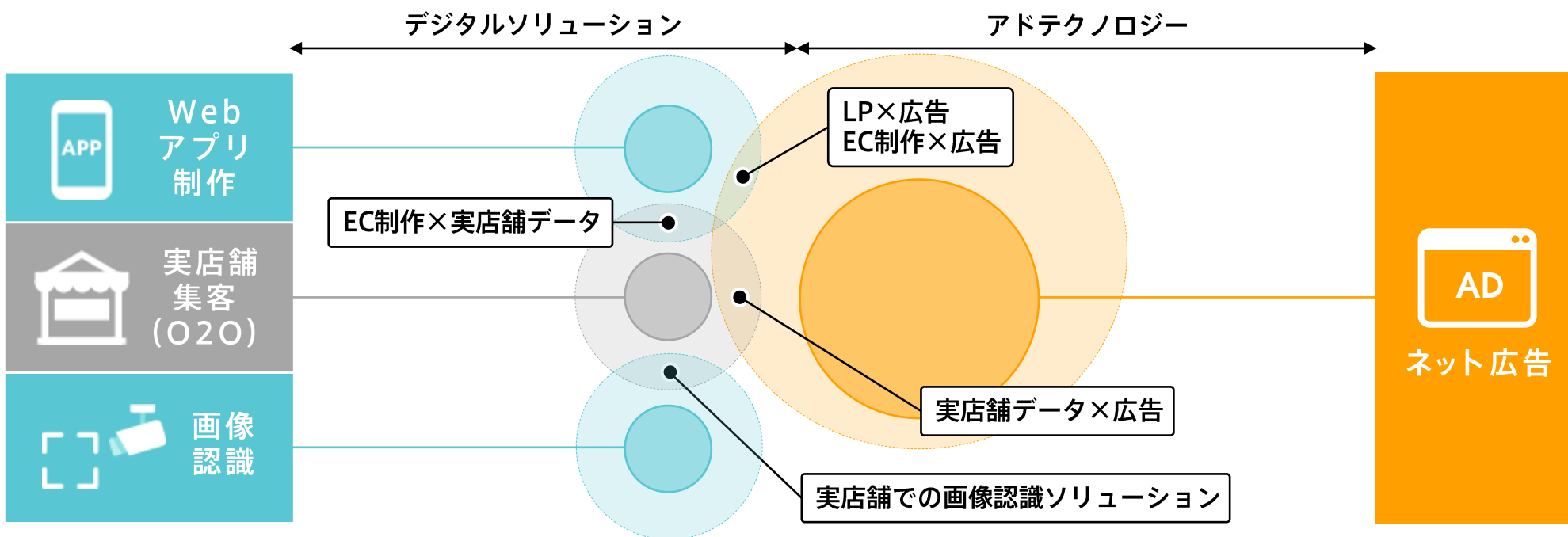
メディアや広告主へ課題解決につながるソリューションとマネタイズ機会を提供



## デジタルソリューション

# クライアントのマーケティング活動に深く入り込み、 安定的な顧客基盤を構築

ストック型ビジネスの拡大、顧客関係性による広告事業の還元、  
M&Aの積極検討により成長を目指す

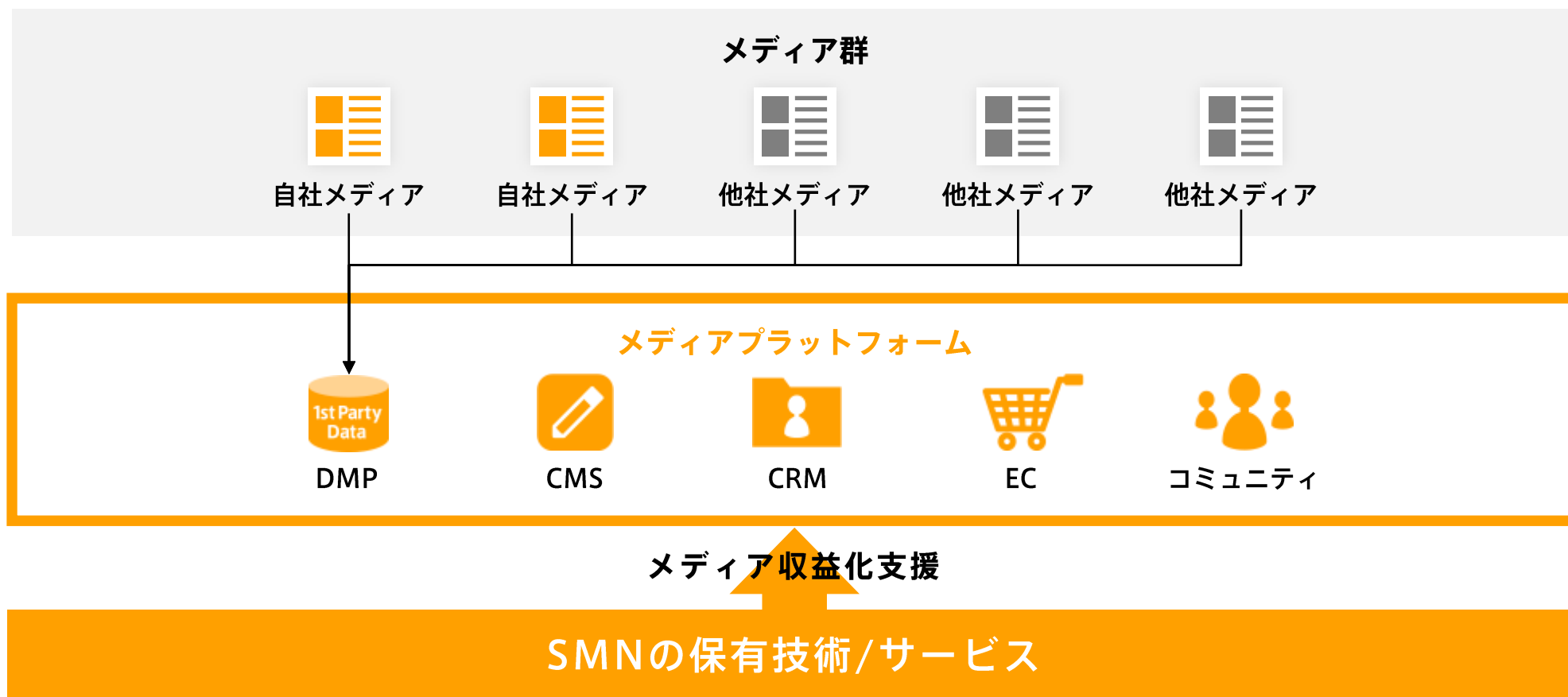


## その他 新規事業

# メディアプラットフォーム構想の実現

コミュニティ型自社メディアの立ち上げ及び

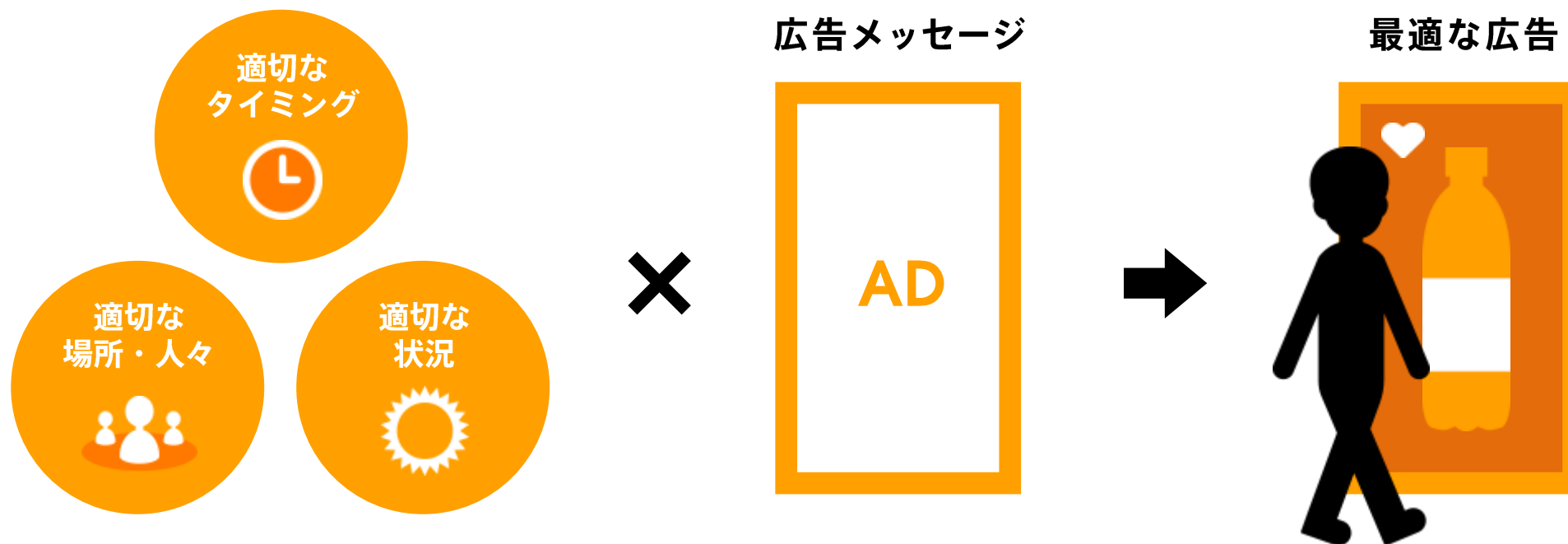
他社向けコミュニティメディア運営プラットフォームの提供による収益化



先端トピック R&Dの方向性

# SMNのコア技術をWebからリアルの世界へ

広告×適切なタイミング、場所・人々、状況にマッチした最適な広告へ

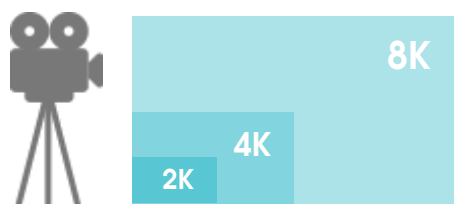


先端トピック 5Gにおける未来

# SMNが保有している技術を活用し 5G時代（高速大容量、低遅延、同時多接続）に**対応**

## 5G時代にはあらゆるものが広告面となる

クリエイティブの  
リッチ化  
(高速大容量)



映像制作スタジオや  
AR/VRコンテンツ制作のノウハウを  
高解像度映像に活用

インタラクティブ性の  
向上  
(低遅延)



データの高速処理技術と  
行動予測技術で、瞬間的で  
高度なパーソナライゼーション

大量デバイスの群制御による  
新しい広告表現  
(同時多接続)



分散して設置された多数のセンサーや  
ディスプレイを同時に制御することで、  
ロケーションフリーな新しい広告表現を創出

## 先端トピック 要素技術への投資

# トップレベルの国際学会にて研究結果を**発表**

中長期的にビジネスへ適用予定

学会名：WSDM2020

タイトル：Unbiased Recommender  
Learning from Missing-Not-At-  
Random Implicit Feedback

概要：「クリックされない商品」＝「利用者が好まない商品」という常識にとらわれずに利用者にとって最適な商品を推薦することができるアルゴリズムを提案

学会名：SDM2020

タイトル：Cost-Effective and Stable Policy  
Optimization Algorithm for  
Uplift Modeling with Multiple  
Treatments

概要：広告配信の際に、「広告を見なくても元から商品を購入する人」は除外して、「広告を見たことで購入する気になる(=アップリフトする)人」を選別するための広告効果推定アルゴリズムを提案

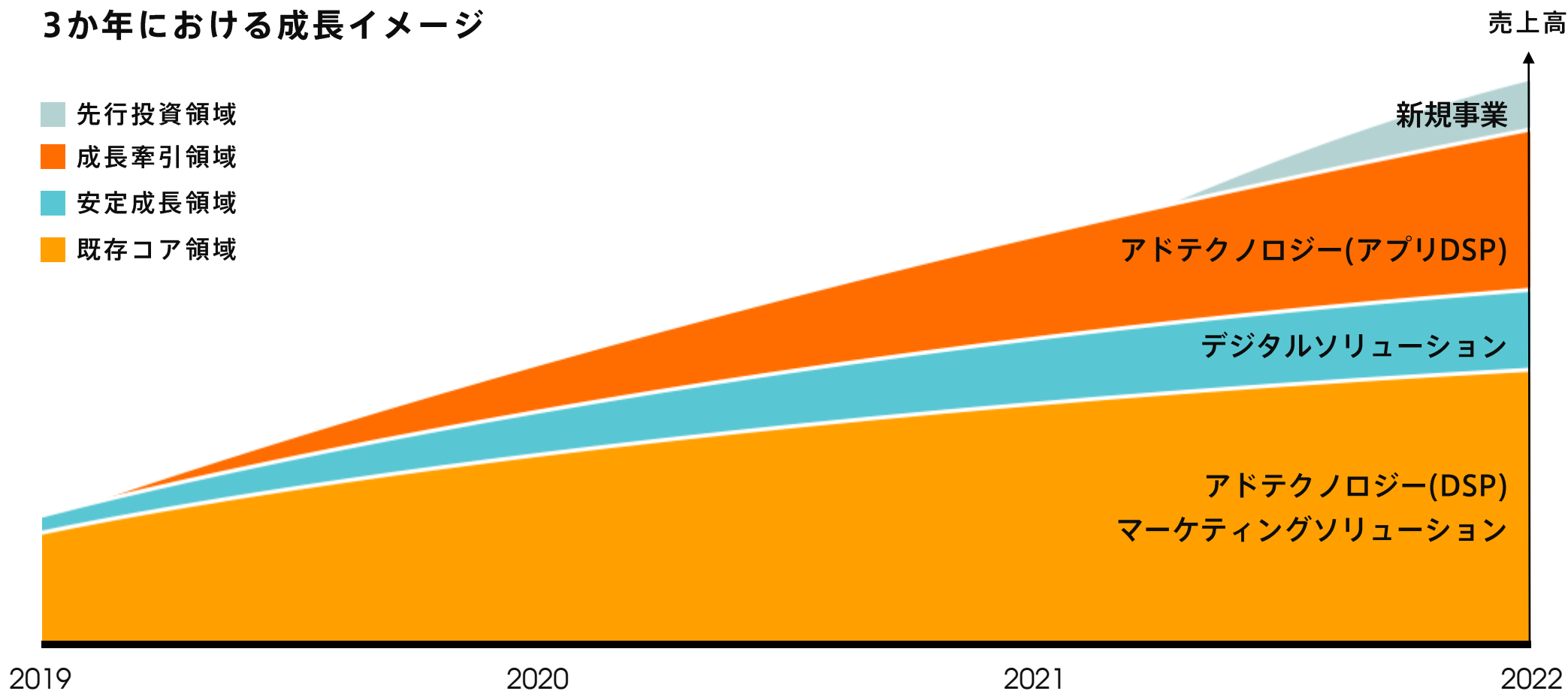
これらの論文は東京工業大学 経営工学専攻 中田和秀准教授との共同研究による成果です

## 成長イメージ

安定的な収益基盤を確立しつつ、将来的な成長領域への積極投資を進め、**事業領域の拡大**を実現する

### 3か年における成長イメージ

- 先行投資領域
- 成長牽引領域
- 安定成長領域
- 既存コア領域



# 2021年3月期 連結業績予想





# 2021年3月期 経営方針

アドテク  
新領域への展開

アプリDSP  
立ち上げ

ソリューション型  
ビジネスの拡大

前期は、アドテク再成長、ソリューション型ビジネスに関しては結果を出すことが出来ましたが、メディア事業参入に関しては想定通りとはなりませんでした

今期、再成長軌道にのってきたアドテクノロジーは  
DOOH/Connected TV等新たな領域への展開を進めてまいります

また、SMNのAI技術を活かしアプリDSPを立ち上げ  
ビジネス拡大を目指します

そして、他社との合併会社を設立したO2Oや  
M&Aで子会社化したウェブインテグレーションの領域でビジネス拡大を目指します

# 2021年3月期業績予想について

2021年3月期は中期事業戦略を達成するために、  
着実に施策を実行してまいります

現時点で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による  
当社グループ業績に与える大きな影響は見られておりませんが、  
当該感染症による影響範囲が不明であることから、  
適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な為、未定としております

2021年3月期の業績予想につきましては、  
合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます

**発想力と技術力で  
社会にダイナミズムをもたらす  
ユニークな事業開発会社になる**

